

こんにちは！あいパルです。

地域の皆さまにご利用いただいている上戸地域交流センター「あいパル」は、男女共同参画センターとしての機能もあります。男女共同参画の図書コーナーの設置やアドバイザーによる男女共同参画相談などもおこなっています。

主な機能・設備

- ・情報コーナー
- ・男女共同参画相談
- ・キッズスペース、授乳室
- ・オムツ替えベッド（男性・女性トイレとも）

あいパルキャラクター



ぼるぼるちゃん あい本

Pick up! あいパル「イベント・講座」案内 ※詳細はあいパルのHPをご覧ください。

講座名	内容	実施予定	申込	費用
(市民大学認定講座) 男女共同参画フォーラム	「活躍する女性」を紹介	10月30日(土)	9月5日開始予定	無料

2021.7
Vol.65

戸田市男女共同参画情報紙

つばさ



レインボーフラッグ with
戸田市男女共同参画キャラクター
「ピリーちゃん」「リブちゃん」

男女共同参画クイズ&プレゼント

LGBTQを理解し支援する人を「□LLY」といいます。

□に入る言葉をお答えください。
ヒント 中面をみてね!



《応募方法》

7月31日(土)まで(消印有効)に、はがき又は電子メールで①答え②住所③氏名④年齢⑤本紙へのご意見・ご感想を明記して、戸田市協働推進課(〒335-8588住所記入不要又はcommunity@city.toda.saitama.jp)へ。正解者の中から抽選で30名に啓発品(オリジナルエコバック)をプレゼント! 当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

第6回

男女ともにいきいきと働ける市内の企業を紹介!

公平病院

公平病院では患者さま中心の価値ある医療を提供し、患者さまの生涯の「かかりつけ医」になるためにチーム一丸となり、この街のヘルスケア拠点であり続けられるよう、ヘルスケアのプロフェッショナルとして役割を全うしています。

当院では、正職員に加え、時短正社員の制度を設けており、家庭と仕事の両立だけではなく、傷病により勤務に制限がある方にも、時短正社員や非常勤として対応できる制度を適用しています。

さらに、休暇制度においては、いち早く新型コロナウイルス感染症対策に動き出し、2020年の2月に体調不良の職員へ有給でのコロナ疑いによる特別休暇制度を構築させ、4月より運用を始めました。

【働きやすい環境】とは【働き続けることができる環境】であることと捉え、今後さらに休暇制度や健康経営の一環として職員が健康でいられる支援に取り組み、【職員の誰もがライフステージに合わせて働きやすい職場】を目指してまいります。



特集

私は私。 Part2

～多様な性について話し合ってみました～

困ったときの相談窓口〈DV相談、性に関する相談(LGBTQ等)〉

悩んでいるあなた、一度相談してみませんか? プライバシーは守ります。

DVとは: 夫婦間や恋人同士など、親密な関係にある人からの暴力をいいます。「暴言をはく」「殴る・蹴る」「大声でどなる」「性的関係を強要する」「避妊に協力しない」「友人や家族との付き合いをチェックする」「生活費を渡さない」など。

LGBTQとは: 同性愛者や両性愛者、身体と心の性が一致しない人達をあらわす言葉です。「性別に違和感がある」「同性を好きになり悩んでいる」などLGBTQ等についての相談は、埼玉県男女共同参画推進センター「With You さいたま」で受け付けています。

相談の名称	実施機関	受付日	相談時間	電話番号
こころの健康相談 DV相談 (電話)	戸田市福祉保健センター	月～土曜日 第2・4・5日曜日(祝日除く)	9:00～12:00 13:00～16:00	048-446-6453
こころの健康相談(要予約) DV相談(要予約) (面接)		月～金(祝日除く)		
男女共同参画相談(要電話予約)	上戸地域交流センター「あいパル」	毎日(第3月曜日除く。ただし、その日が祝日の場合は受付可)	10:00～18:00	048-229-3133
DV相談・LGBTQ等の相談 (法律相談・カウンセリング)	埼玉県男女共同参画推進センター「With You さいたま」	月～土曜日(祝日、第3木曜日除く)	10:00～20:30	048-600-3800
男性のための電話相談		毎月第3日曜日	11:00～15:00	048-601-2175
DV相談+(プラス)	内閣府 男女共同参画局	毎日24時間受付		0120-279-889

命の危険を感じたら110番を!

その他の相談窓口については、市のホームページをご覧ください。(右のQRコードからご覧いただけます。)



編集員募集!

私たち編集員は、多様な声を反映する紙面作りを目指していますので、どなたでも是非ご応募ください。



つばさ編集員
夢沼

編集後記

- 座談会@つばさ編集会議、自分でも気づきの多い企画でした。多数が少数の方よりも偉いなどと勘違いせず、皆が自分らしく幸せな社会を築きたいですね。(アグツ)
- 初めてのキャンプ。慣れない寝袋で眠れない。それでも元気のフリをして翌朝温泉へ。助手席で睡魔と戦いながら帰路に着いた。次こそ楽しめるよう作戦は立ててある!(鈴木)
- 2回にわたって特集した「私は私」。違いを受け入れることは簡単ではありません。が、一人ひとりが違いを受け入れようと意識することが大切な一歩になるのではないのでしょうか。(夢沼)
- 私にとっては、ハードルの高い「男女共同参画」の言葉。性別等に関係なく、一人ひとり皆が輝ける社会になることを紙面で学び、ハードルが下がりました。(窪田)



「つばさ」バックナンバー

特集 私は私。 Part2 ～多様な性について話し合ってみました～

前回のつばさ第64号(2021.1発行)では、「私は私。Part1～まずは知ろう 多様な性～」と題して、LGBTQ などについて特集しました。

LGBTQ^{※1}は、性的少数者の方を表す総称のひとつです。

性的少数者の方々は、周囲の理解不足や偏見などにより、社会のなかで様々な困難に直面しています。

多様な性のありかたについて、より理解を深めるため、前号の続編のPart2として、編集会議で話し合ってみました。

※1

L レズビアン 女性の同性愛者	G ゲイ 男性の同性愛者	B バイセクシュアル 両性愛者
T トランスジェンダー からだの性とこころの性が一致しないため違和感を持つ人	Q クエスチョニング 性的指向や性自認が決められない 分からない、決めないなどの人	

自分の身近にも

Aさん: 性的マイノリティ(LGBTQ)って言葉、最近よく耳にするね。

Bさん: そうだね。自分の身近にも、性的マイノリティの人はいるよ。

Cさん: 私の学生時代には自分の周りにも性的マイノリティの方が多いけど、友達どうしの中で勝手に言わない、また、聞かないという暗黙の了解があったわ。



Aさん: アウティング^{※2}はしてはいけないことだからね。

Bさん: 悪意がなかったとしても、その人を傷つけることになってしまう。何をいつ、誰に話すかは本人が決めることだから、その人の気持ちを一番大切にしないとね。

小さい頃からの教育

Cさん: 性的マイノリティへの理解が浸透するには、小さい頃からの教育が大切だと思う。

Aさん: そうだね。家庭でも学校でもいろいろな性があることを学んでいくのが大事だね。

Bさん: 幼稚園とかでも「戦いごっこは男の子の遊び」

「男の子はブルーで女の子はピンク」のような固定観念的な言葉をまだまだ耳にするよ。

Cさん: 学校に入る前の、もっと小さい頃に学ぶのも良いし、教える側(先生や親)も学び、変わっていかなくちゃね。

Aさん: 今は家族で読める本等もあるから、親子で新しい知識を入れていけたらいいね。

Bさん: 男女共同参画の拠点になっている「上戸田地域交流センターあいパル」にもいろいろな本があるみたい。



自分のこととして考える

Cさん: 自分の家族などの身近な存在が性的マイノリティであることがわかったらどうする?

Aさん: 理解しているつもりでも、実際自分のことになるとどうだろう?

Bさん: 性というものは変えようと思って変えられるものではないから、諭して考えを変えさせようというのは間違いだね。

Cさん: その人にとっての幸せが何かを考えてみる必要がある。

Aさん: だからカミングアウト^{※3}されたら、見守って支えてあげたい。まずは我が事として考えること。

Bさん: 見守り支えていくには、自分に知識がないとね。

アライ^{※4}の精神でいきましょう

Cさん: まず知ろうとして理解しようとするのが入り口で、これが一番大切ね。

Aさん: 色々な性があるということを理解し、受け入れることが大事。自分の知らない中で偏見があるかもしれないし、悪気なく差別をしてしまうかもしれない。

Bさん: 性的少数者と言っても様々な方がいることを理解し、その人の気持ちに寄り添うことが大切だね。

Cさん: 他人ごととしてとらえるのではなく、自分のこととして、考えることが重要よね。

Aさん: 性的少数者のあり方も、時代によって変わって

きている。世代によって考え方も違うかもしれない。

Bさん: 性的マイノリティに関する情報も更新されているので、常に新しい情報を得よう心掛けたい。

Cさん: 知ろうとすること、理解しようとするのがその人達の支援になる。それをすることで、ALLY(アライ)になれる。ALLYの精神でいきましょう。

具体的にどうしたら「Ally」を実践できるのか、今後も考えていきたいと思います。



言葉の意味を正しく知り心がける事で、皆に優しい社会になると思います。

私は私。自分自身も、そして周りの人も一人ひとりの人格や性を尊重することが大切ですね。



※2 アウティング……本人の了解を得ずに、他の人に公表していない性的指向や性同一性等の秘密を言い広めること。

※3 カミングアウト……自らが性的マイノリティであることを他人に打ち明けること。

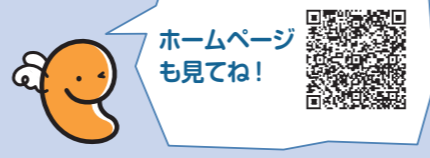
※4 ALLY……LGBTQの当事者たちを理解し、支援する人。

いかがだったでしょうか?

2回にわたり、性的マイノリティを特集し、今回はカミングアウトやALLYなどについても触れてきました。「私は私。あなたはあなた。」という考えで多様な性を受け入れていくことが、みんながいきいきと暮らせるまちをつくっていくことに繋がるのではないのでしょうか。

あなたの経験を活かしてみませんか? ~男女共同参画人材リストの登録者募集~

戸田市在住や在勤・在学の方で、ご自身の知識や経験などを活かし、会議に参加してまちづくりにご協力いただける方を募集しています。ご興味のある方は、戸田市役所協働推進課まで (048-441-1800 内線428)



男女共同参画フォーラムがオンラインで開催されました

なぜ科学が楽しいのか!?

~東大生に聞く 私は中高生の時こうだった!~
2月27日(土) 戸田市民大学認定講座 男女共同参画フォーラムが、あいパルで開催され、初のライブ配信でしたが24名の参加がありました。東京大学特任講師の松本悠先生、東京大学・大学院で研究をしている女子学生3人が登壇し、「好きなことや興味をもったことを突きつめた結果が今に繋がっている」、「知るためには『どうして?』という疑問を常に持ち続けることが大切」などと語られ、学びの大切さを伝えていました。

男女共同参画川柳 応募作品

昔はねと聞いた差別 今もあり

性別より大切なのは あなたらしさ

違いより多様性への思いやり

上戸田の星

男女共同参画川柳 募集中!